

節まとめの問い

ヨーロッパ州では、EU 統合によって地域にどのような影響が生じたのだろうか。東西ヨーロッパのいずれかの立場に立って考えよう。

※デジタル教科書オリジナルの問いです

評価規準の具体例

知識・技能	・空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目してヨーロッパ州の地域的特色について自然環境、文化、産業の特色を大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。
思考・判断・表現	・空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、EU 統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・他地域との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及び EU 統合や文化の多様性に関わる課題を、よりよい社会の実現を視野にいれて主体的に追究しようとしている。

指導計画例

項目	本時の目標	端末活用	作成したいカード
1 ヨーロッパ州の自然環境	(1) ヨーロッパ州の地形の特色を、地図や景観写真の読み取りを通じて理解することができる。 (2) ヨーロッパ州の気候の特色を、海流と偏西風の影響から考察することができる。	カード作成	アルプス山脈 国際河川 西岸海洋性気候 地中海性気候 北大西洋海流 偏西風
2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性	(1) ヨーロッパ州では、キリスト教による文化の共通性がある一方で、細かな違いによる多様性があることについて理解することができる。 (2) キリスト教の宗派と言語の分布には関連性があるということを考察することができる。	カード作成	キリスト教 同じ系統の言語 同系統の民族 移民 難民 イスラム教 共生社会
3 EU の成り立ちと人々の生活の変化	(1) EU 誕生までの経緯や、EU の成立による影響を理解することができる。 (2) EU 結成の背景や、統合による人々の生活の変化について考察することができる。	思考ツールの提示 カード作成 思考ツールで整理	経済力で対抗 ヨーロッパ連合 (EU) 行き来が自由 ユーロ 関税 域内の産業の発展
4 ヨーロッパ州の農業と EU の影響	(1) ヨーロッパ州で行われている農業の地域の違いを理解することができる。 (2) EU の取り組みがヨーロッパ州の農業にもたらした影響を考察することができる。	カード作成 思考ツールで整理	混合農業 酪農 地中海式農業 食料自給率 共通農業政策 認証制度 経済発展
5 ヨーロッパ州の工業と EU の影響	(1) ヨーロッパ州の工業の特色と、EU の統合が工業にもたらした影や課題を理解することができる。 (2) EU 加盟後にみられる変化を資料から読み取り、その背景を考察することができる。	カード作成 思考ツールで整理	先端技術産業 国際分業 情報通信技術 (ICT) 産業 工場を移転 市場 外国企業の進出 環境に配慮
6 EU 統合による課題への取り組み	(1) EU が抱える経済格差の状況を、資料から読み取ることができる。 (2) EU が模索する新たな統合の在り方について考察することができる。	カード作成 思考ツールで整理	労働力不足 人材の流出 経済格差 移民 難民 補助金 負担 EU から離脱
節のまとめ		まとめ・発表・提出	

節まとめのプロセス

- 第3時で節まとめの問いに対して自分なりの答えを思考ツールでまとめていくことを示し、学習の見通しをもたせる。
※ヨーロッパ州の地域統合の背景である地形的な特色(第1時の学習)・文化的な特色(第2時の学習)を踏まえて問いに答えてほしいため。
- 毎時間の整理で、節まとめの問いに関わる必要なカードを作成させ、節まとめの問いと毎時間のつながりを確認させる。
- 毎時間の整理を基に、「まとめも」の機能を活用し、カードに関する補足説明をしたり、カードの色を変えて分類したり、カードどうしを矢印でつなげて関連性を考えたりしながら、節まとめの問いに対して構造化させて自分の答えをまとめていく。
※オレンジ色の作成したいカードについては、節のまとめでは必須語句となるため、作成していない生徒がいれば作成を促す。

地理的な見方・考え方の着眼点

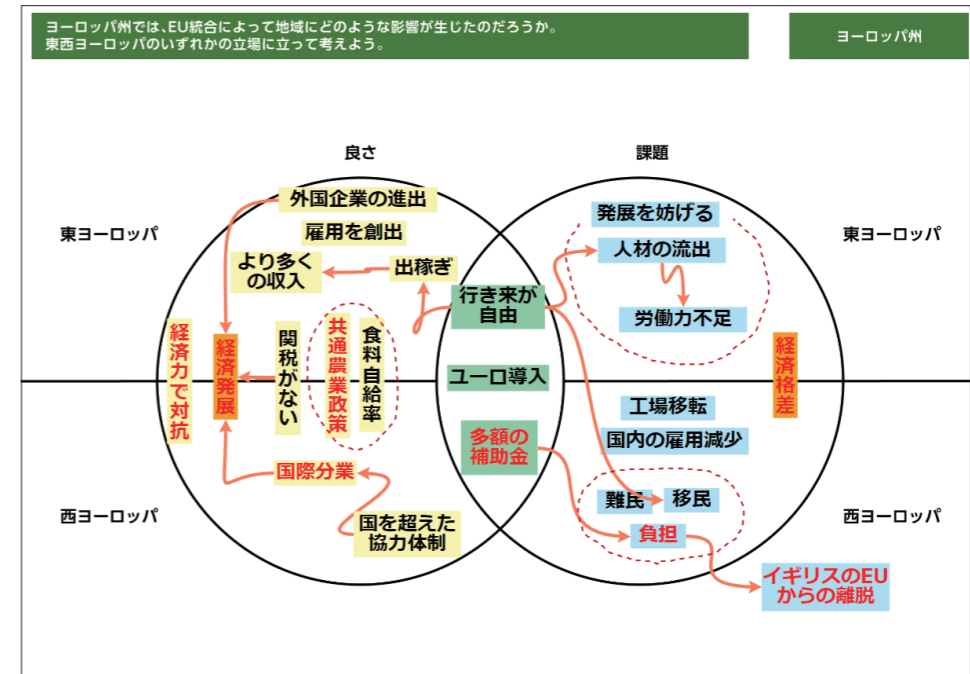
位置や分布 場所 人間と自然の関わり 他地域との結びつき 地域の特徴

- EU の空間的な広がりとその拡大の理由が統合に与えた影響に着目させ、地域特有の良さや課題を生み出していることに気づかせる。

思考ツールと選定意図

- 地域統合の影響には「良さ」と「課題」があることに気づかせるだけでなく、「良さであり課題でもあること」に気づかせることで、統合について多面的に捉えさせることをねらいとしているため、立場を示した「ベン図」を使用した。
- 東ヨーロッパと西ヨーロッパという立場を観点に入れることで、同じ EU に加盟する国同士でも統合の影響には違いがあることに気づかせることができ、EU 統合について多角的な視点からも追究することができる。
- ヨーロッパ以外の他地域の統合について考える際にも、統合の良さや課題という視点だけでなく、地域間の共通点や相違点を考える視点を持つ契機となると考えた。

思考ツールを使った解答例



※解答例に関係するカードは赤字とした。カードの配色は、必須の観点を「オレンジ」、良さを「黄」、課題を「青」、良さと課題の両面を「緑」とした。

西ヨーロッパの立場に立った場合の解答例

大国に経済力で対抗する必要があった西ヨーロッパの EU 加盟国の多くは、地域統合により共通農業政策を通じて各地の特色ある農業を保護したり、国際分業で協力して製品を作ったりして経済発展を進めている。一方、東ヨーロッパに企業が生産拠点を移したことで国内の雇用が減ったり、経済格差を埋めるための補助金増加が負担になったりしたことで、イギリスのように EU から離脱する国も現れた。

評価のポイント

- 観点に沿って地域統合の影響を整理・分類し、東西ヨーロッパに共通する「良さ」「課題」、各地域に特徴的な「良さ」「課題」の両面に触れながら、それぞれのつながりや関連について表現している。
 - 西ヨーロッパか東ヨーロッパのどちらかの立場に立ち、EU 統合による影響を、その影響が生じている理由や背景に触れて、良さや課題の両面から述べている。
- これらの条件をすべて満たしていれば A 評価とする。

節まとめの問い

近畿地方の人口の増加や産業の発展と水（生活・農業・工業用水など）にはどのような関連があるのだろうか。水資源の分布に着目して白地図にまとめよう。

※デジタル教科書オリジナルの問いです

評価規準の具体例

知識・技能	・地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。
思考・判断・表現	・自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連付けながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。
主体的に学習に取り組む態度	・近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。

指導計画例

項目	本時の目標	端末活用	作成したいカード
1 近畿地方の自然環境	(1) 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解することができる。 (2) 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解することができる。	白地図の提示 読図・カード作成 白地図で整理	琵琶湖 淀川 中国山地 丹波高地 紀伊山地 リアス海岸 季節風 黒潮 ため池
2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏	(1) 琵琶湖と淀川の水質保全が重要である理由を、人口や都市の視点と関連付けて考察できる。 (2) 琵琶湖の水を守る取り組みの歴史的な経緯を理解し、環境保全の大切さに気付くことができる。	図版の読み取り 読図・カード作成 白地図で整理	京阪神大都市圏 ニュータウン 琵琶湖・淀川水系 水質悪化 水質改善
3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み	(1) 阪神工業地帯の臨海部の工業地帯の変容を、環境対策の視点などから理解することができる。 (2) 中小企業の高い技術を受け継いでいくための取り組みや、地域住民と共存していくための取り組みについて調べ、課題の解決について考察することができる。	カード作成 白地図で整理	阪神工業地帯 地盤沈下 大気汚染 公害 水の再利用 中小企業
4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全	(1) 京都や奈良では、歴史的な景観や文化財を保全し、観光資源として生かしていることを理解することができる。 (2) 京都や奈良の人々が、歴史的な景観や文化財の保全に取り組んでいる理由を考察することができる。	カード作成 白地図で整理	古都 伝統的工芸品
5 環境に配慮した林業と漁業	(1) 近畿地方の林業や漁業では、環境保全のためにどのような取り組みを行っているかを理解することができる。 (2) 近畿地方の林業は、森林管理の技術を受け継ぐ若い後継者が少ないことが課題であることに気付き、どのようなことができるかを考察することができる。	カード作成 白地図で整理	環境林 熊野古道 観光客の増加 日本海 干潟の再生 里海
節のまとめ		まとめ・発表・提出	

節まとめのプロセス

- 1.はじめに、節まとめの問いに対して自分なりの答えを白地図でまとめていくことを示し、学習の見通しをもたせる。
- 2.毎時間の整理で、節まとめの問いに関わる必要なカードを作成させ、節まとめの問いと毎時間のつながりを確認させる。
- 3.毎時間の整理を基に、「まとめ」の機能を活用し、カードに関する補足説明をしたり、カードの色を変えて分類したり、カードどうしを矢印でつなげて関連性を考えたりしながら、節まとめの問いに対して構造化させて自分の答えをまとめていく。
※オレンジ色の作成したいカードについては、節のまとめでは必須語句となるため、作成していない生徒がいれば作成を促す。

地理的な見方・考え方の着眼点

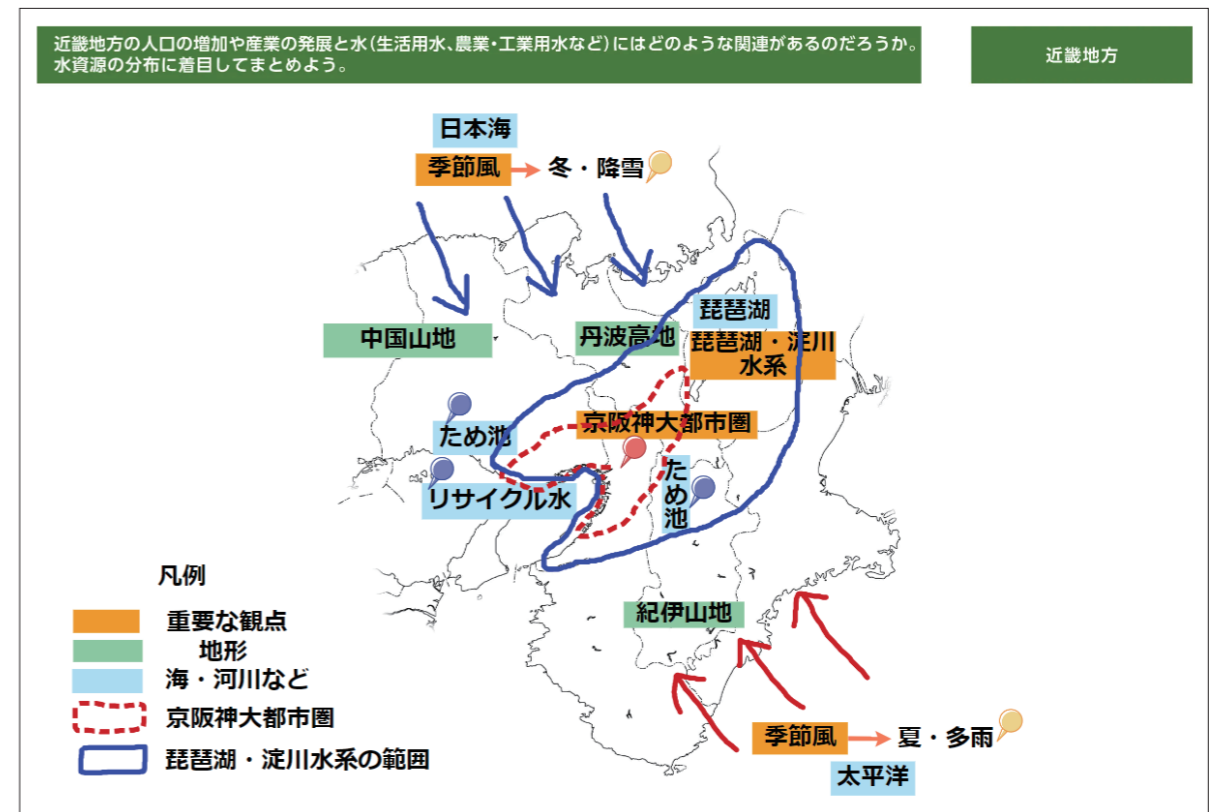
位置や分布 場所 人間と自然の関わり 他地域との結びつき 地域の特徴

- ・ 近畿地方は地形と気候の特徴から北部・中央部・南部の三つの地域に分けられる。中央部に広がる京阪神大都市圏は、南北に位置する山地や高地によって季節風が遮られるため年間を通して降水量が少ないことに気付かせる。京阪神大都市圏の人口や産業を支えるために、琵琶湖・淀川水系やため池といった複数の水資源を生活・農業・工業用水などに利用して自然と共存している人間の営みに着目させる。

白地図でまとめるメリットと留意点

- ・ 白地図でのまとめには、地理的な見方・考え方にに基づき、地形や気候など（自然条件）と、人口増加による開発や産業の発展に伴って求められてきた環境保全の取り組みなど（社会条件）の双方を踏まえて思考し、自分なりに表現する力が求められる。このまとめ課題を通じ、知識及び技能の習得のみならず、生徒の資質・能力を総合的にバランスよく育むことが可能となる。
- ・ 近畿地方の白地図まとめの作成では、教科書 p.203 ⑧から近畿地方の北部・中央部・南部の気候の特徴を最低限留意させ、より発展的には各府県の人口や教科書 p.204 ②を参考に近畿地方の人々の琵琶湖・淀川水系の利用割合を調べるなど、データから判断できる内容を追記して客観性の高い白地図まとめになるよう助言する。

白地図を使った解答例



※カードの配色は解答例の凡例の通りである。配色は一例であり、凡例は生徒に自由に作成させて良い。
※超教科書ビューアの「マイリンク」機能を使用して教科書図版や生徒が各自で調べた関連資料などをリンクさせている。

近畿地方の中央部は、季節風が運ぶ湿った空気が南北に広がる山地や高地に遮られて降水量が少ない。そのため、人口増加のなかで市街地を広げてきた京阪神大都市圏の生活や産業は琵琶湖・淀川水系の水に支えられている。これらの水を今後も利用し続けるために、大阪湾沿岸の地域では地下水の汲み上げすぎによる地盤沈下の対策としてリサイクル水を利用したり、播磨平野や奈良盆地では水不足に備えるために農業用のため池が多く作られたりするなどの様々な工夫が見られる。

評価のポイント

- ・ 複数の資料をもとに、近畿地方の北部・中央部・南部の気候の特徴の違いを表現している。
 - ・ 近畿地方の人口分布と琵琶湖・淀川水系の水の利用率の関連について説明している。
 - ・ 気候の違いが水資源の分布や生活・産業への利活用に関連することを説明している。
 - ・ ため池やリサイクル水の活用、水質改善の取り組みなど、琵琶湖・淀川水系以外の水資源の確保とその保全について複数の視点で述べている。
- これらの条件をすべて満たしていればA評価とする。